



東林  
119

我啓之備之為事化之變

道之海標為國家

世之前途在為

推之

以教之政と家の一由及

以の隆と衰の地方

以のありては之のさく

深く或は路の少生

一昨十日夕上京、就

て、子連西野の仕着

之、又、此地の事、頃

うすしに福かきさる  
年味あり  
と共へいふ方のか復  
神と感し難思  
くら敷ははふふ曲  
と云ふは花のさ  
年と福あり  
のまはあまの  
あまのあまの  
はあまのあまの  
乙卯十二百

真彬

大隈五光